



鳴鹿小学校

校長室だより

第11号 令和5年11月14日(火)



パワーアップデー

10月18日(水)、さわやかな秋晴れの下、鳴鹿小学校パワーアップデーが開催されました。

開会式では、代表の桑野汰一さんが「鳴鹿っ子 みんなでつかもう 勝利と絆」のスローガンのように、みんなで力を合わせて、これまでの練習の成果を発揮しましょうと挨拶してくれました。選手宣誓では、赤組団長 大谷和義さんと白組団長 大谷航己さんが「最後まで正々堂々と戦うことを誓います。」と決意を述べてくれました。



このパワーアップデーは、子どもたちが成長する絶好の機会です。低学年は低学年なりの、高学年は高学年なりの目標をもって自分の役割を全うするために準備をし、練習をし、頑張ります。



目標をもったときの子どもたちの自主性は、目を見張るものがあります。普段の生活では見られないような姿を見せてくれます。決して、当日だけが成果ではありません。パワーアップデー本番までの毎日が、子どもたちの成長の証となります。

1、2、3年生は、徒競走やペア種目、大玉送りなど、一つ一つの競技に一生懸命に取り組みました。応援の練習では、歌やダンスなど覚えることがたくさんあって大変だったと思います。でも、大きな声で、かわいらしく、上手にできていました。

3年生は一輪車演技のアナウンスを流暢にこなしていました。



高学年は委員会や係などで6年生を中心に企画や運営を頑張りました。

4年生は、初めての一輪車演技への参加でしたが、昨年からの練習をしてきた成果が表れていて、とても上手でした。



「やろう!」という意欲が見事に実を結びました。

5年生の一輪車演技は2年目ともあって、さすがに上手でした。ペア演技やグループ演技など、より確実に、より美しくできるようになっていく姿に、とても頼もしさを感じました。6年生のサポート役として係の仕事も頑張りました。



6年生は小学校最後のパワーアップデーということで、長期間に渡って応援や係のリーダーとなって知恵を出し合い、助け合って下級生をひっぱってくれました。下級生に、どんな風に話したら伝わるか、どのように見せたら動いてくれるか、あれこれ悩んだことと思います。卒業までのあと半年もリーダーとしてよろしくお願いします。



6年 最後のパワーアップデー



パワーアップデーは、子どもたちの頑張りが見られて、とてもうれしい1日となりました。閉会式後の子どもたちの姿は、大きな事をやり遂げた自信に満ち溢れているように感じました。きっと、それは、当日一日だけの頑張りではなく、それまでの頑張りの成果だと思います。

そして、私は、その当日までの頑張りの方が、子どもたちにとってより重要だと思っています。結果だけではなく、過程を大事にしたいなと思っています。